

サクツクリハバチ

6～9月にポプラやヤナギの葉を食べるイモムシ（幼虫）。最大長約12mm。体は緑色，頭は黒い。幼虫や食べ痕の周囲には白いトゲ状の物質が柵のように並ぶ。

本州では害虫とされるが，北海道では多発した記録はない。

【学名】 *Stauronematus copressicornis*

【分類】 ハチ目（Hymenoptera），ハバチ亜目（Symphyta），ハバチ科（Tenthredinidae）

【分布】 北海道，本州；朝鮮半島，ヨーロッパ。

【生態】

宿主：ポプラ属，ヤナギ属。

北海道では詳しい調査は行われていない。幼虫は6～9月までみられる。

【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真) .

北海道立林業試験場・緑化樹センター

サクツクリハバチ [habachi/sakutuku/
kaisetu.htm](http://habachi/sakutuku/kaisetu.htm)

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/1/4.